

モニタリング結果報告書

施設 地球市民かながわプラザ

指定管理者 (財)かながわ国際交流財団

施設所管課 県民局くらし文化部国際課

(平成21年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月20日	改善すべき業務等なし
11月	12月10日	12月18日	改善すべき業務等なし
12月	1月12日	1月22日	改善すべき業務等なし
1月	2月10日	2月19日	改善すべき業務等なし
2月	3月10日	3月19日	改善すべき業務等なし
3月	4月10日	4月20日	改善すべき業務等なし

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

< 提案内容の概要 >

地球市民意識の醸成と多文化共生社会を築くための総合的学習施設として、プラザの持つ施設資源を最大限に活かし、一般来館者、教育関係者、外国籍県民と異なる対象層に最も適した方法で学習機会を提供することなど、施設の効用を高めるため、バランスよく安定的な事業の展開を具体的に提案した。

- ①世界の多様な文化や地球的規模の課題に対する子どもの理解を深めるため、小学校、中学校、高等学校、幼稚園から校外学習を受け入れるとともに、民族衣装の試着や民族楽器の演奏体験など、世界の文化や暮らしを実感してもらうワールド・カルチャー・デイを毎月実施するなど、プラザの施設特性や学習資源を活用した学習機会を提供する。
- ②プラザの設置目的を踏まえ、地球規模の課題や多文化共生・異文化理解などをテーマに、企画展を実施し、プラザの学習センター機能を充実させる。
- ③外国籍県民の生活支援の観点から、多言語資料を活用し、外国籍県民の相談体制を整備する。

< 実施状況 >

- ①・校外学習受入 年間 177 校
 - ・ワールド・カルチャー・デイ (各月のテーマ: 10月タイ、11月インドネシア、12月太平洋、1月南北アメリカ、2月モンゴル、3月世界めぐり) プラザ利用者数 年間 292,904 名
- ②・豊田直巳写真展「津波アチェの子供たち～スマトラ沖地震から5年」10月31日～12月6日 来場者数 3,134 名 (地震・津波被害と紛争の苦難を乗り越えた人々を見つめた写真の展示)
 - ・小松義夫「地球のくらし写真展」1月30日～3月28日 来場者数 5,614 名 (世界の様々な人々の営みを映し出した写真の展示)
- ③外国人教育相談事業を実施 相談件数 年間 463 件
 - 相談日 週 3 日、対応言語 中国語、スペイン語、タガログ語、日本語

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	321,295	321,295	0	320,935	359
上半期計 (a)	158,217	158,217	0	146,763	11,453
下半期計 (b)	163,078	163,078	0	174,172	△11,094
10月	25,350	25,350	0	25,045	304
11月	23,575	23,575	0	23,976	△401
12月	39,400	39,400	0	42,275	△2,875
1月	23,575	23,575	0	31,723	△8,148
2月	23,574	23,574	0	23,566	7
3月	27,604	27,604	0	27,585	18
合計 (a+b)	321,295	321,295	0	320,935	359

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

なし

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況	なし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	138,911 人	156,130 人	△11.0%
下半期計 (b)	153,993 人	133,199 人	15.6%
10月	21,436 人	22,699 人	△5.6%
11月	25,585 人	24,106 人	6.1%
12月	19,652 人	16,891 人	16.3%
1月	22,405 人	18,996 人	17.9%
2月	32,794 人	22,846 人	43.5%
3月	32,121 人	27,661 人	16.1%
合計(a+b)	292,904 人	289,329 人	1.2%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

隔年開催のカナガワビエンナーレ国際児童画展の県内巡回展を9月から3月まで実施したため、下半期の前年対比増減比率が増加した。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月						0
11月					376	376
12月						0
1月						0
2月						0
3月						0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			0
11月			0
12月			0
1月			0
2月			0
3月			0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・絵本や子ども向けの本を増やしてほしい。	1月に、映像ライブラリーにこどもコーナーを開設し、子ども向けの図書を約500冊追加した。
	・映像ホールのイスが硬く疲れる。	3月に、イスの入れ替え工事を行い、改善を図った。
職員対応	・	
事業内容	・	
その他	・館内で利用できるベビーカーがあるといい。	現状1台に加え、新たに5台用意し、授乳室や保育室に利用案内の掲示を行った。

※ 上記内容は、11月に実施した利用者満足度調査(回答者数376名)において、意見・要望があった事項への対応状況である。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	なし
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	なし		
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>事業に関しては、1月に発生したハイチ大地震と復興支援をテーマに、2月から3月にかけて多角的なフォーラムを実施した。今後も、時事的にタイムリーな話題を取り上げ、地球規模の課題について学ぶ機会を提供する事業を展開していきたい。</p> <p>校外学習受入事業では、ハンディを持つ生徒が使いやすい民族衣装や楽器の活用等で特別支援学校が利用しやすいように、配慮した受入れなど、学校の多様なニーズや学習目的に応じた体験・参加学習プログラムを実施するとともに、見学スケジュールや対応スタッフの調整を密に行うことによって、昨年度よりも多くの学校を受け入れることができた。</p> <p>また、下半期においては、企画展の会期日数及び子ども向け映画会の上映回数を増やすなど、利用者数の拡大を図った。</p>
施設所管課	<p>利用者数の拡大については、上記の指定管理者の取組みにより、前年度を上回る利用者数の実績をあげ、利用の促進が図られた。さらに、こどもコーナーの開設により、子どもの地球市民意識を醸成する場の充実が図られたことは評価できる。</p> <p>利用者満足度調査では、施設の満足度について満足が約7割であり、施設の全体的な印象については良いが9割と概ね良い評価を得ているとともに、利用者の要望等に対しても改善を行っている。今後も、利用者の声を踏まえた施設運営や事業展開を行うことが期待される。</p>